

国内事業戦略

2023年11月16日

専務取締役 国内事業統括 国内事業部長

吉岡 清貴



国内 前年比較と計画進捗状況

(単位：百万円)

	2022年度 上半期実績	2023年度 上半期実績	前年同期 増減額 (増減率)	5月公表時 通期予想 進捗率
売上高	104,136	113,450	+ 9,314 (+8.9%)	47.3%
医療機器	58,570	56,995	△ 1,574 (△2.7%)	44.3%
医薬品	45,566	56,455	+10,889 (+23.9%)	50.9%
売上総利益	32,272	36,634	+ 4,362 (+13.5%)	50.1%
売上総利益率	31.0%	32.3%	+1.3%	
営業利益	9,497	12,285	+ 2,788 (+29.4%)	49.2%
営業利益率	9.1%	10.8%	+1.7%	

国内医療機器 製品群別売上高

百万円

■ 2022年度上半期

■ 2023年度上半期

20,000

薬剤溶出バルーンの
他社対抗品の影響

注射針類の販売
好調と価格改定

ダイライザ・HDF
フィルター微減も
価格改定で増収

真空採血管・
新型血糖測定器
の販売好調

透析装置の
出荷台数減

HeartMate3
の販売増

0

前年比
+4.2%

前年比
+0.7%

前年比
△11.3%

前年比
+3.1%

前年比
△18.9%

前年比
+16.0%

注射・
輸液関連

糖尿病・
検査関連

透析関連

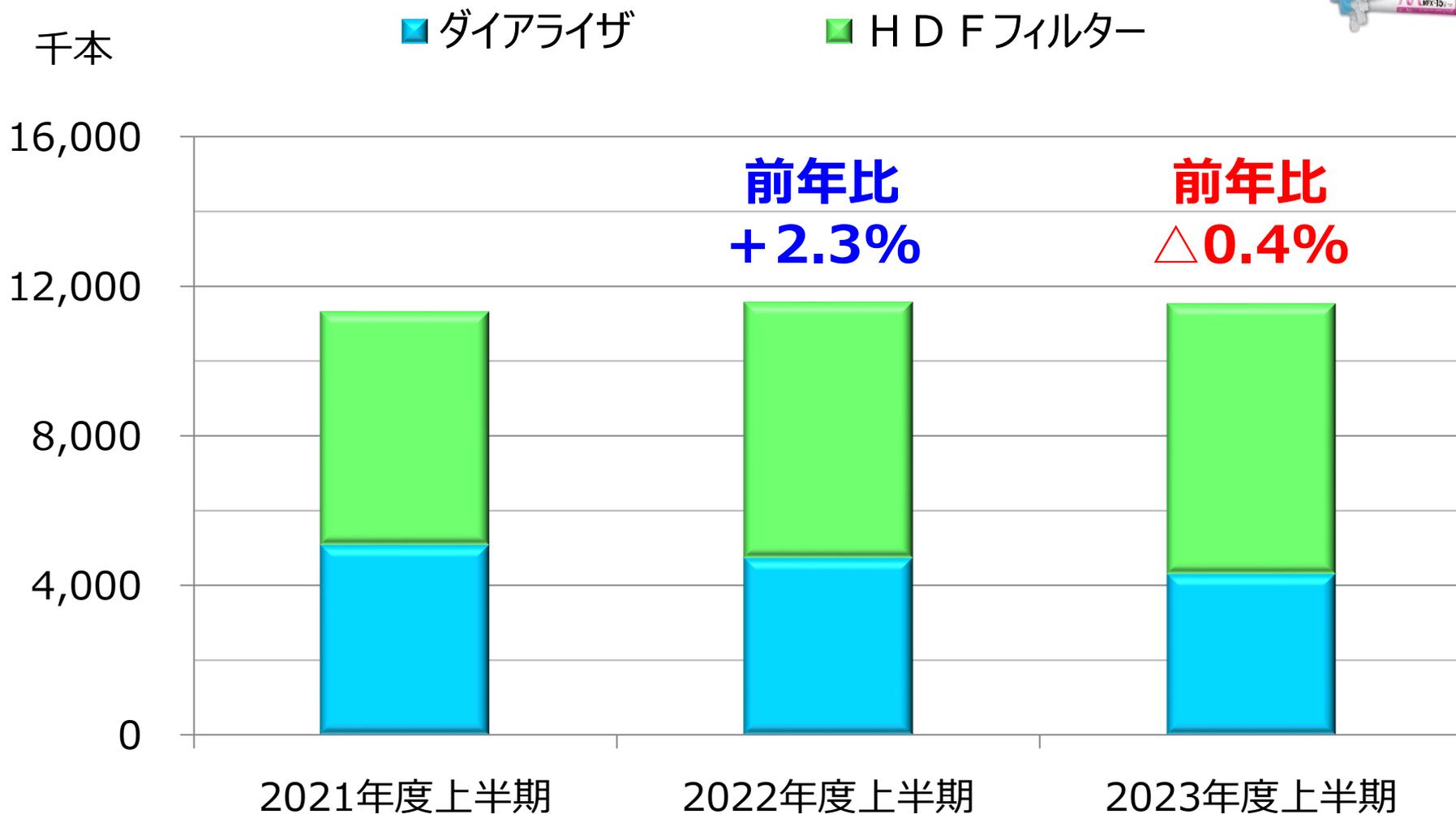
ポンプ・
透析用器械

バスキュラー
関連

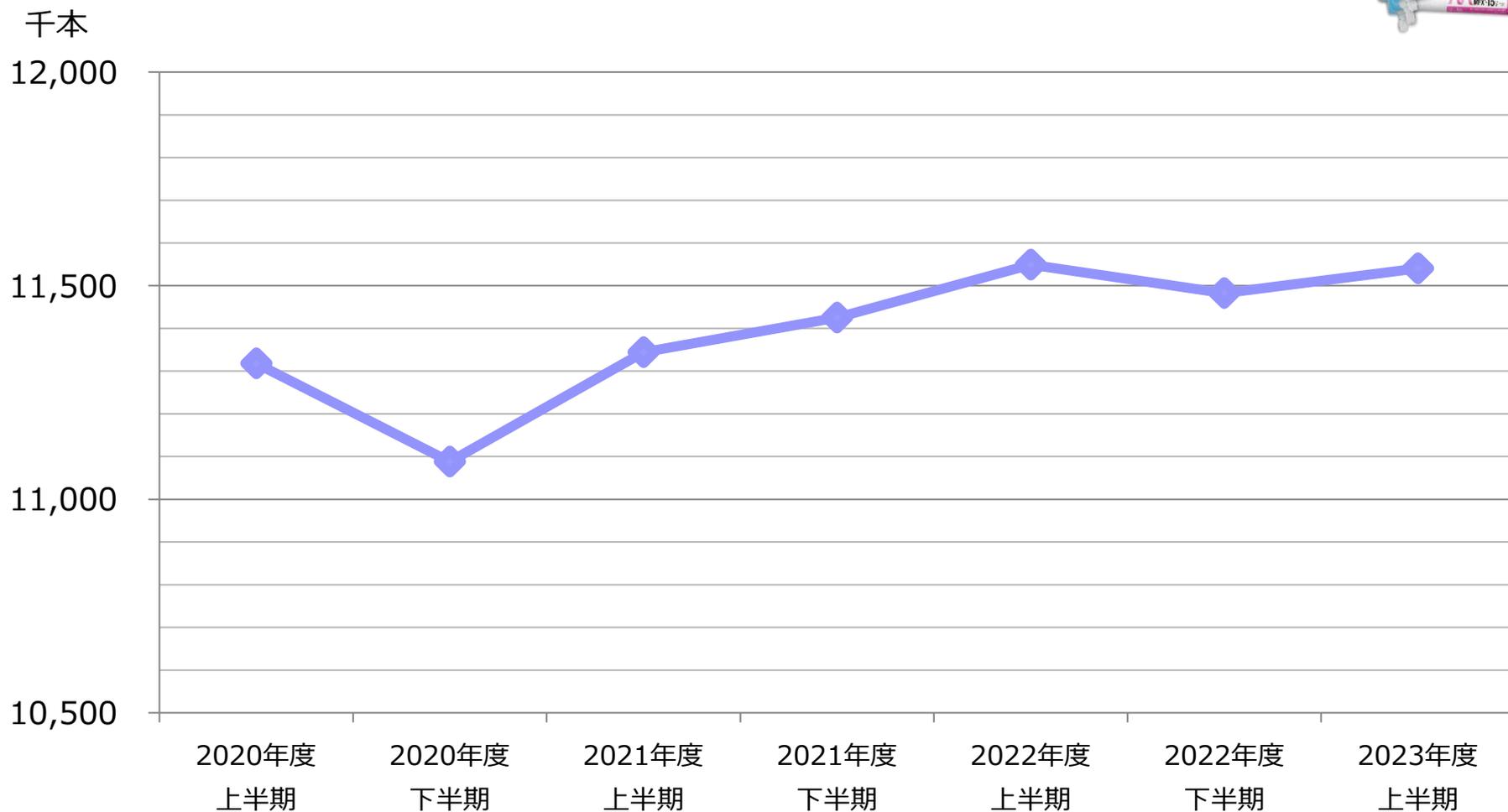
S D
関連



ダイアライザ・H D Fフィルター 販売数量推移



ダイライザ・HDFフィルター 販売数量推移



冠血管用薬剤溶出型バルーンカテーテル 「SeQuent® Please Neo ドラッグイルーティング バルーンカテーテル」

適応拡大承認取得のお知らせ

これまで本品の適応として承認されていた、ステント内再狭窄病変および対照血管径3mm未満の新規冠動脈病変に加え、新たに3mm以上の新規冠動脈病変に対する適応を、2023年8月8日付にて承認取得しました。
これにより、血管径に関わらずすべての新規冠動脈病変に対して、本品を用いた治療が可能となりました。



販売名：SeQuent® Please Neo ドラッグイルーティング
バルーンカテーテル

一般的名称：冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテル

製造販売：ニプロ株式会社

医療機器承認番号：30200BZX00085000

SARS コロナウイルス/インフルエンザウイルス 抗原定性検査キット

Vトラスト[®] SARS-CoV-2+Flu Ag



一般的名称：SARSコロナウイルス抗原キット
インフルエンザウイルスキット

販売名：Vトラスト[®] SARS-CoV-2+FLU Ag

包装：1テスト/箱、20テスト/箱

測定対象：鼻咽頭ぬぐい液または鼻腔ぬぐい液

製造販売：ニプロ株式会社

分類：体外診断用医薬品

製造販売承認番号：30500EZX00042000

**SARS-CoV-2 ウイルス、A型インフルエンザウイルス抗原
および B型インフルエンザウイルス抗原を定性的に同時に
検査する抗原定性検査キットです。**

2023年10月販売開始



ニプロHN LINE

ニプロ 医療機器データ通信サポートシステム



電子カルテ



医用電子血圧計



乾式臨床化学
分析装置



パルスオキシメーター

汎用輸液ポンプ



テレメトリー式
心電送信機



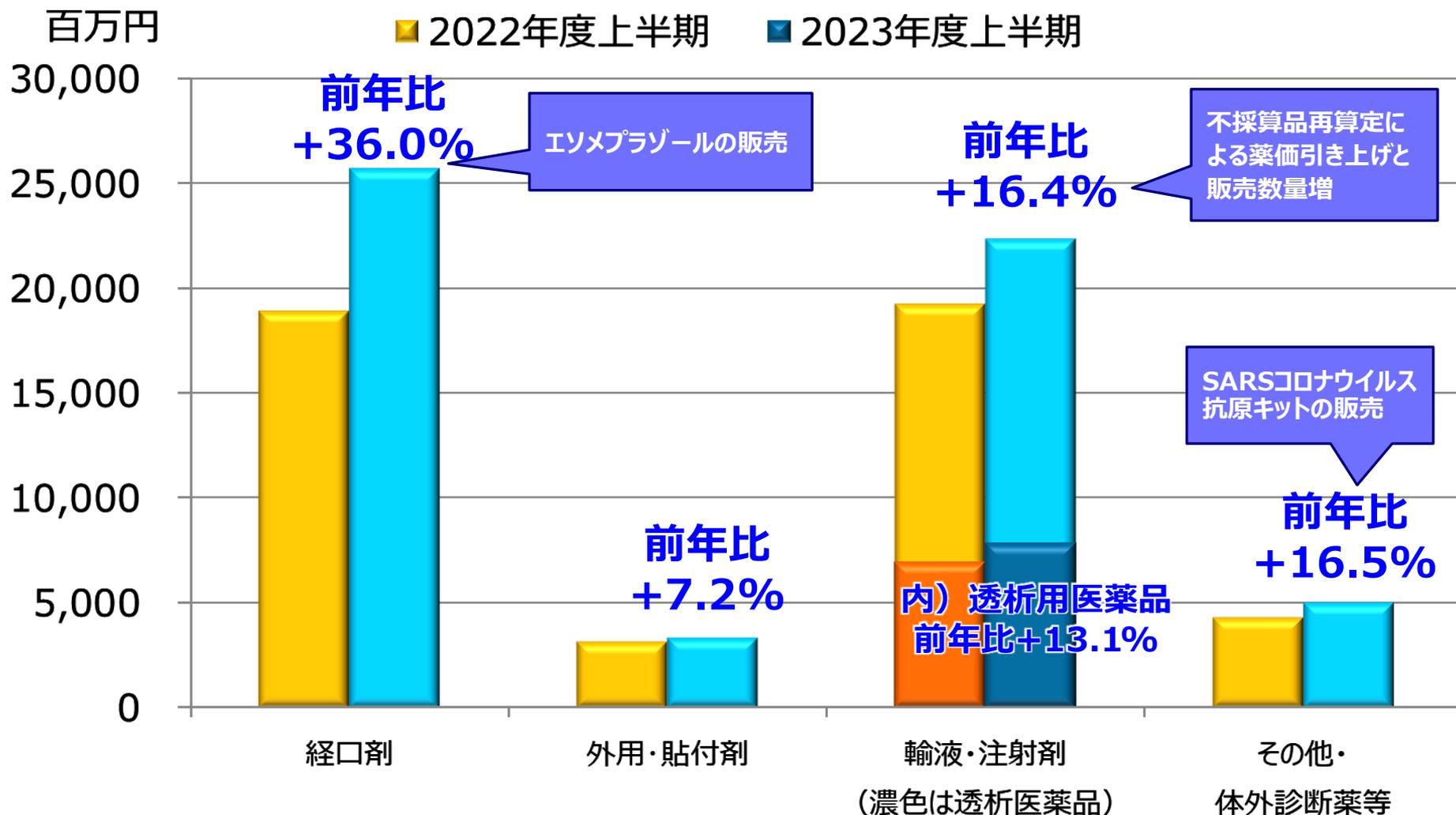
ニプロ
HN LINE



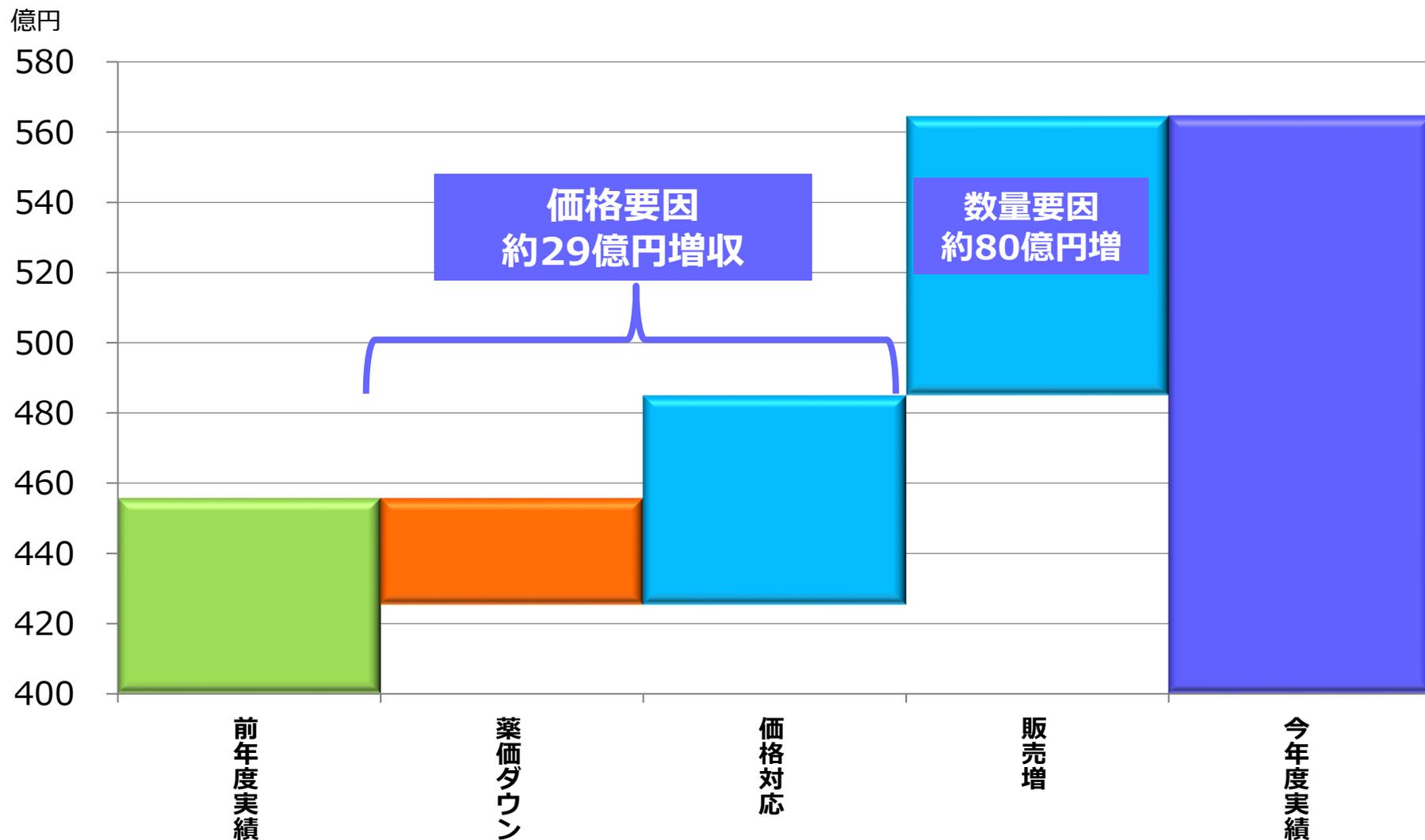
- ・働き方改革
- ・医療安全の向上
- ・看護業務の効率化

「ニプロHN LINE」は医療現場の働き方改革をデジタルトランスフォーメーションで支えます。

国内医薬品 製品群別売上高



国内医薬品 外部売上高増減要因



国内医薬 2023年下半期 発売予定品目

	販売名	写真	薬効分類名	代表薬剤
注射剤	ペグフィルグラスチム BS 皮下注 3.6 mg「ニプロ」		持続型 G-CSF 製剤	ジールスタ®皮下注 3.6mg
	ダプトマイシン静注用 350mg「ニプロ」		環状リポペプチド系 抗生物質製剤	キュビシン®静注用 350mg

※ ペグフィルグラスチムBS皮下注3.6 mg「ニプロ」は、既承認の持続型 G-CSF 製剤であるジールスタ®を先行バイオ医薬品としたバイオ後続品です。
またジールスタ®のバイオ後続品の製造販売承認取得は国内で初となります。

国内 今年度通期予想修正

(単位：百万円)

	2022年度 実績	2023年度 通期予想 (5月時点)	2023年度 通期予想 (11月時点)	対5月公表時 通期予想 増減額 (増減率)	対2022年度 実績増減額 (増減率)
売上高	216,432	239,738	231,629	△8,109 (△3.4%)	+15,197 (+7.0%)
売上総利益	67,621	73,189	73,263	+74 (+0.1%)	+5,642 (+8.3%)
売上総利益率	31.2%	30.5%	31.6%	+1.1%	+0.4%
営業利益	21,398	24,947	25,825	+878 (+3.5%)	+4,427 (+20.7%)
営業利益率	9.9%	10.4%	11.1%	+0.7%	+1.2%